

様式第6号(第6条関係)

(表)

政務活動費収支報告書

2026年 4 月 27日

明石市議会議長
国出 拓志

様

会 派 名 対話の会あかし
代 表 者 名 中西 礼皇
経理責任者名 中西 礼皇

明石市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり2025年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入

(単位:円)

科 目	決 算 額	摘 要
政 務 活 動 費	961,059	受取利子1,059円を含む

2 支 出

(単位:円)

科 目	決 算 額	摘 要
研究研修費	487,005	視察費、ガソリン代
資料作成費	33,997	コピー機利用料
資料購入費	110,250	書籍代、新聞代
広報広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
人 件 費	0	
通信運搬費	24,592	電話代、通信代
備 品 費	0	
消耗品費	70,077	文房具代
計	725,921	

3 収支差引額

235,138 円



(裏)

4 活動の成果

2025年度は積極的に研修会や先進自治体への視察に参加し、全国の事例を学んだ。

例えば、愛媛県四国中央市や愛知県豊橋市では地域の資源を生かして自治体のブラン

ディングを進めている。担当する自治体職員と地域の担い手の関係は強く、互いの立

場を理解した上でそれぞれの立場から事業を支えるためには、明石市の職員も地域に

入り込む必要があると感じた。数年で異動する行政職員が地域住民の信頼を得るには

工夫が必要である。

旭川市や福井県の視察では、地域事業に合わせた市役所・県庁のサービス提供につい

て学んだ。大府市では愛知県と県内自治体が乳幼児の事故データを共有することによ

る事故対策推進を学んだ。いずれも現地を見ながら、熱意ある担当者の説明を聞き、

他の参加者の質問や意見を聞くことで多くの知見を得ることができた。

新聞や書籍は教育や放課後児童クラブ等について、現場の担当者や利用者の目線を知

るために購入した。
